

開講のあいさつと祝辞

日時：2015年10月16日（金）14：00～14：25

会場：ロッテホテル36階ベルビュースイートルーム（ソウル）

主催者（韓国代表）あいさつ

世界のリーディング グループに

韓国医薬流通協会会長

黄 治燁



本日は第2回アジア・パシフィック医薬品流通フォーラムにご出席くださいました、日本、中国、韓国の医薬品流通関係者の皆さまに深くお礼申し上げます。また、お忙しい中にも関わらず、本日のフォーラムに多大なご関心をお持ちいただき出席くださいました保健福祉部のオウ課長に心よりお礼申し上げます。

2007年に釜山で初めて開催されました韓国、日本の医薬流通フォーラムを基に発展したアジア・パシフィック医薬品流通フォーラムは、世界の医薬品流通の主となっております日本、中国、韓国の3か国が参加する大変意義深いフォーラムとして位置づけられています。このフォーラムを通して3か国が医薬品流通の情報を相互に交換し、持続的な成長が可能となるビジョンを通して各国の流通業界の発展はもちろんのこと、世界の医薬品流通業界におけるリーディンググループとなることを期待しております。

世界的な保険医療費の萎縮の影響もあり、医薬品卸のマージンは持続的に減少しております。我々の流通費用を確保するために深みのある幅広い論議が行われることを心より期待しております。

日本代表あいさつ

お互い知恵を出し合って 課題解決を

日本医薬品卸売業連合会会長

鈴木 賢



日本医薬品卸売業連合会を代表し、第2回アジア・パシフィック医薬品流通フォーラムの開催に対して感謝とお礼を申し上げます。昨年のIFPW北京総会から1年、東京で開催されました第1回のフォーラムから2年経ちました。今日ここで、皆さまにお会いできて大変嬉しく思っているところです。

日本は、自然災害が多く発生する国ですが、我々日本の医薬品卸は、その中にあっても、迅速安全に医薬品の供給に努めており、高い評価をいただいています。そして、少子高齢化の進展や高額な医薬品の普及などにより医療費は増え続けており、政府はその抑制をしようとしています。そのため現在、来年4月の「診療報酬・薬価の改定」を控え、医療制度や薬価制度の改革を巡り、活発な議論がなされています。中国や韓国も同様な課題を抱えていると思います。

本日は、外資系メーカーとの取引、つまり川上取引がテーマとなっています。各国が抱える共通の課題について発表・検討し、お互い知恵を出し合って良い方向に進んでいければ良いと思っています。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

中国代表あいさつ

人類の健康のための よりよい提案に期待

中国医薬商業協会会長

付 明仲



第1回は日本で開催されましたが、日本のフォーラムではアジア・太平洋地域の医薬品流通の発展のために、皆さまのご活躍をお聞かせいただきました。第2回目のフォーラム開催にあたり、韓国医薬品流通協会の方々に、この会議のために最善を尽くして交流の場を設けてくださいましたことを大変嬉しく思います。第3回は2017年に中国で開催される予定であり、そこではアジア・太平洋地域の医薬品流通の発展のみならず、全世界の医薬品流通の革新的な変化のために多大な努力を傾けていきたいと思っております。

中国の医薬品流通産業は健全な発展を続けております。中国の13億の方々が健康を追求しておりますし、また健康の考え方が次第に変わりつつあります。医薬品の流通構造も変化しております。日本、韓国、中国で開催されます、このようなフォーラムを契機として、我々がともに人類の健康のために、よりよい提案をできることを期待しております。

そして、アジア・太平洋地域の人々が健康でいられることができると信じております。このような努力を通して、未来の医薬品流通業界の変化、またはアップグレードのために、皆さまのご貢献をお聞かせくださるようお願いいたします。そして、全世界の医薬品流通の発展のためにもこのアジア太平洋地域が革新的な役割を果たすと思っております。3か国の医薬品流通協会の相互協力が深まることを期待いたします。

韓国保健福祉部祝辞

国民のための 医薬品流通体系の構築を

韓国保健福祉部薬務政策課長

オウ



韓国保健福祉部の薬務政策課長のオウです。1回目は日本で開催され、そして2回目のフォーラムを韓国で開催することになり、参加をさせていただきました。次の会議でまたご招待をいただければ、中国にも行ってみたいと思います。

現在、韓国には医薬品卸だけでも2000社あります。他の国に比べてかなり多いのですが、医薬品流通を通じ国民の安全、そして健康のために、頑張っているという状況です。いま国内外で保健医療をめぐる環境が大きく変化しています。韓国の医薬品流通は他の業種とは違っていて、単純に需要と供給だけで価格が決まるわけではありません。政府の医薬品関連の政策、そして国民の医療費負担、そういうことを考慮し議論をしなければならない部分も多いと思っております。

製薬会社と卸売会社の関係、そして、国民医療の発展のために医薬品流通業界のこれからのあり方について、3か国が集まって積極的に議論ができればと思います。そして最近、福祉部、韓国の保健福祉省も、医薬品構造の透明化、そして流通構造をいろいろ改革する方策を考えております。シリアルナンバー、一連ナンバー制度など流通業界ではかなり負担感があるかもしれません。そのような基準の強化などにご協力いただきましてありがとうございます。

もっと競争力を強め、国民のための医薬品流通体系を構築することに積極的に取り組んでくださることをお願い申し上げたいと思います。